

事業名	県民文化祭費		
細事業名	県民文化祭開催費補助金	財務コード	579601
担当部課室	企画県民 部 生涯学習文化 課 芸術文化振興 担当 (内線)		1660

事業の概要

実施期間	始期 H13 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(やまなし県民文化祭実行委員会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 県民、文化芸術活動者	その対象をどのような状態にして 文化芸術の発表・創造・鑑賞機会の提供、異なるジャンルや地域との交流、新たな人材の取り込みや地域の個性的な文化活動の紹介等が行われ、文化芸術活動に参加している	結果、何に結びつけるのか 県民参加による文化芸術活動の活性化
	事業の概要: 県民の文化芸術活動への参加を促進し、個性あふれる文化を創造するため、県民総参加の県民文化祭を開催する。 総合フェスティバル 総合舞台: ジャンルを越えた総合的な芸術文化の発表と交流。 総合展示: 美術、書道、写真、華道、フラワーデザイン及びハンドクラフトの融合した展示等。 部門別フェスティバル(19部門25ジャンル) [展示部門] 美術、書道、写真、華道、フラワーデザイン及びハンドクラフト [舞台部門] 音楽(クラシック・ポピュラー・アコースティック・ジャズ・ロック・ゴスペル&アカペラ・SJ(シニア&ジュニア)コーラス)、朗読、民謡民舞、合唱、邦楽、日舞、洋舞、演劇、太鼓、吟剣詩舞及び吹奏楽 [発表部門] 文学及び茶道 地域フェスティバル 民間芸術文化団体等が、地域で自主的・主体的に行う事業を募集。 ・地域文化イベント ・地域芸術文化活性化イベント ・市町村文化イベント 特別事業 伝統文化の祭典、 まちなかステージ 国民文化祭派遣事業		
事業の内容主にH26年度			
根拠法令等	文化芸術振興基本法、山梨県補助金等交付規則、やまなし県民文化祭開催費補助金交付要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	フェスティバル事業数					目標設定の考え方 過去の実績とする。(平成25年度は国民文化祭の開催に伴い規模を縮小しての開催となったため、H22~24の3年間の平均値を主な比較対象とする) データの出典等 予算見積書	
	総合フェス	: 休止	: 2事業	: 2事業	: 2事業		: 2事業
	部門別フェス	: 5事業	: 25事業	: 24事業	: 25事業		: 25事業
	地域フェス	: 85事業	: 88事業	: 91事業	: 88事業		: 88事業
国文祭派遣	(国文祭開催により規模を縮小して開催)	: 1事業	: 1事業	: 1事業	: 1事業		
活動指標達成率(実績値/目標値)		101.7 %					
成果指標	県民文化祭への総参加者数	172,762人	226,600人	331,681人	231,200人	235,800人	目標設定の考え方 平成30年度の目標値(県民文化祭への参加者数245,000人)をもとに、年度ごとの目標値を設定。 データの出典等 新やまなしの教育振興プラン
	成果指標達成率(実績値/目標値)		146.4 %				
決算額又は予算額(千円)うち一財額	3,463		21,362	23,770	21,471	成果指標によらない成果	
所要時間(直接分)	20 時間		20 時間	20 時間	20 時間	団体やジャンルの枠を越えた交流や協働により、創造的な舞台発表や総合的な展示等を開催しており、部門毎の展示・発表と併せて、多彩な鑑賞機会を提供できている。 総合展示に関する県民アンケートでは、複数の部門に係るレベルの高い作品を同時に鑑賞できることへの評価を得られている。	
所要時間(間接分)	6,000 時間		6,250 時間	6,250 時間	6,200 時間		
所要時間計	6,020 時間		6,270 時間	6,270 時間	6,220 時間		
人件費コスト単位:千円(@2,048円×所要時間)	12,329		12,841	12,841	12,739		

これまでの事業の見直し・改善状況

・平成25年に本県で開催した「富士の国やまなし国文祭」の成果を継承すべく、次のとおり見直しを行った。  
 地域フェスティバルにおける特別事業「伝統文化の祭典」及び「まちなかステージ」の開催、部門別フェスティバルにおける新ジャンルの継続開催、高齢化の著しい部門での若者参加促進事業の実施、地域フェスティバルの採択要件の見直し(単独市町村での開催事業は採択しない)、国文祭派遣事業の創設、合同展示の廃止  
 ・「山梨県文化芸術振興ビジョン」への位置づけ

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定 H26年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)    b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)    c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H26年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること 県民に優れた芸術文化の鑑賞機会や芸術文化活動の成果発表の場を提供する県下最大の文化の祭典への参加者は、331,681人と目標を大きく上回っており(146.4%)、意図した成果を十分に上げている。 また、総合展示のアンケート結果によると、異なるジャンルが融合した展示に対して、高い評価を頂いている。 さらに、県民文化祭参加者は、自発的な事業の開催も積極的に行うなど、県民文化祭の開催が県民の文化芸術活動の裾野拡大に大きな役割を果たしている。
a	a	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)    b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)    c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)    d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	「富士の国やまなし国文祭」の成果を取り込んだ平成26年度のやまなし県民文化祭においては、国民文化祭によってはくまれた地域の文化芸術を大切に育んでいこうという県民の機運の高まりを背景に、これまででない規模で県民の文化芸術活動への参加が促進された。 今後については、平成27年2月に策定した「山梨県文化芸術振興ビジョン」にも県民文化祭の継続開催が位置づけられていることから、ビジョンのメインテーマである「人を育み、文化を磨く(文化芸術団体の担い手育成)」にも配慮する中で、引き続き県民文化祭を開催していく。 その際、5つの新ジャンルについては、各ジャンルの自立性を促進し、事務局負担の軽減を図ることとする。	k

・「以外の判断項目」の欄  
a: 目的の達成    b: 新たな課題への対応    c: 対象の変化    d: ニーズの変化    e: 法律・制度の改正    f: 民間等実施    g: 市町村等へ移管    h: 外部委託  
i: 経費節減    j: 類似事業と統合・連携    k: 所要時間の縮減    l: ITの改善    m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	やまなし県民文化祭実行委員会事務局の負担軽減を図るため、県民文化祭の開催に当たり、5つの新ジャンル(アコースティック音楽・ゴスペル&アカペラ・ロック・S)(シニア&ジュニア)コーラス)に関しては、現在事務局が行っている事務を徐々に移行するなどして、各ジャンルの自立を促していく。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること